

九州・沖縄地域部会

1. 令和4年度活動方針

【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な能力を高めていく。また、県の枠を越えて形成した人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1) 7つの分科会と3つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

＜分科会＞ ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、
③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、
⑥デザイン分科会、⑦IoT 分科会

＜研究会＞ ⑧天草陶石の未利用資源に関する活用研究会、⑨無焼成プロセス研究会、
⑩AI/IoT 実装研究会

(2) 九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進するとともに、中堅・中小企業の課題解決への支援を各機関が協力して実行する。

【重点活動】

(1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、産技連九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバー(九州地方知事会等)をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業の連携を図り、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会等との連携の維持・強化を図る。

(2) 地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

地域部会総会を開催する。また、各分科会は年1回程度、研究会は年2回程度開催し、地域産業の課題解決に資する関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行うとともに、共通課題を掘り起こし、明確にして、その課題を解決すべく広域連携で取り組む。

(3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

地域企業等へ産総研・公設試等の最新情報並びに産学官の情報交換・交流の場を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を継続開催する。企業 & 公設

試・産総研合同成果発表会の同時開催や、講演会、技術シーズ紹介、支援機関等の活動紹介等を効果的に行うことにより、各機関の利活用促進と相互連携を加速し、地域イノベーションの創出に寄与する。

(4)九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会を開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの向上に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。

2. 現在までの活動状況

【重点活動に対応する活動状況】

(1)広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄地域産技連と産技連九州・沖縄地域部会が連携して、第1回 W/G を令和4年6月7日、第2回 W/G を同10月14日に、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮してオンライン形式で開催。

第1回 W/G は、九州・沖縄地域産技連企画調整会議と合同で開催し、「九州・沖縄地域部会総会・分科会」、「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」、「九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会」等、各々の事業の実施方針や具体的なスケジュール等について協議。

第2回 W/G は、地域産技連や地域部会の活動をはじめ、研究者合同研修会の開催報告、産業技術オープンイノベーションデーの開催に向けた準備状況等について意見交換を実施。

(2)地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

九州・沖縄地域部会総会については、広域連携推進検討 W/G において開催方法等を検討し、令和5年2月2日に九州・沖縄地域産業技術連携推進会議と合同開催する方向で九州経済産業局など関係機関との調整を実施。

<分科会(①～⑦)・研究会(⑧～⑩)>

- ①窯業・ナノテク・材料技術分科会 12月13～14日 福岡県久留米市
- ②資源・環境・エネルギー分科会 11月24～25日 鹿児島県鹿児島市
- ③情報・電子分科会 12月14日書面開催(IoT 分科会と合同開催)
- ④ライフサイエンス分科会 10月14日 オンライン開催
- ⑤機械金属分科会 10月27日 オンライン開催
- ⑥デザイン分科会 11月24～25日 沖縄県豊見城市
- ⑦IoT 分科会 12月14日書面開催(情報・電子分科会と合同開催)

- ⑧天草陶石の未利用資源に関する活用研究会 11月2日 オンライン開催、
12月13～14日 福岡県久留米市、2023年3月オンライン開催予定
- ⑨無焼成プロセス研究会 2023年3月頃オンライン開催予定
- ⑩AI/IoT実装研究会 7月19日 オンライン開催、11月11日 ハイブリッド開催、
2023年3月頃第3回開催予定

また、IoT分科会の中に設置したAI/IoT実装研究会については本研究会の在り方について検討中。

(3) 令和4年度 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

九州・沖縄地域の企業経営者、技術者・研究者への研究成果情報の発信及び中小企業支援機関のコーディネータ等との情報交換を密に行い、相互の連携を活性化させ、オープンイノベーションを促進することを目的に、産業技術総合研究所九州センターと九州経済産業局とが九州・沖縄各県公設試、九州地方知事会、九州イノベーション創出戦略会議等の関係機関と一体となって、平成23年度より実施。

第12回目となる今年度は、令和4年11月22日に登壇者(企業含む)、公設試、支援機関等を会場に参集しハイブリッド形式にて開催。①産総研九州センターの取り組みを紹介、②半導体・デジタル産業にフォーカスした講演会、③企業と各県公設試・産総研との共同研究についての合同成果発表会、④産総研の技術シーズ Web 説明会、⑤会場参集者による支援機関等交流会を実施。(①～④配信)

また、各県公設試の技術シーズ(13機関、42テーマ)・支援機関等の活動紹介(10機関)については、産総研九州センターのホームページ上でナレーションを付加して紹介する等、参加者が理解しやすいように情報発信。

更に、研究者の成果発表の奨励や、分かりやすく伝える能力を高めること等と目的として、技術シーズ紹介や合同成果発表会において審査を行い、優秀な案件については2月2日に予定している九州・沖縄地域産技連において表彰予定。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮してハイブリッド形式(登壇者、支援機関等会場参集)での開催となった。参加申込者数は388名でそのうち会場参集者74名で配信終了後、3年ぶりに支援機関等交流会をリアルで実施。

(4) 令和4年度(第18回) 九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

福岡県工業技術センターに協力頂き、令和4年7月6日～7日北九州市において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じた上で、リアル形式で開催。九州・沖縄の公設試及び産総研九州センターからの研修生(11名)をはじめ、講師やスタッフ等を含めて計24名が参加。

研修会では、①経済産業省 研究開発課 産業技術プロジェクト推進室長より「科学技

術・イノベーションをとりまく最近の政府の動きについて」と題しての講義、②研修生によるショートプレゼン、③研修生間の個別の情報交換会、④3班に分かれ意見交換を実施し内容を発表。⑤福岡県工業技術センター機械電子研究所の概要説明及び研究7施設を見学。

参加者からは「新たなネットワークの構築ができた」、「専門以外の方と交流ができて刺激的だった」等の声が聞かれた。

【上記活動状況を含め、現在までの活動全般で特筆すべき内容の詳細】

3. 今後の予定、課題等

【今後の予定】

九州・沖縄地域産業技術連携推進会議と産技連九州・沖縄地域部会総会を、令和5年2月2日に合同開催予定。

また、3月9日、第3回広域連携推進検討W/Gを開催し、令和4年度事業のレビュー、令和5年度同事業の方針・内容等について協議することとしている。

【活動の具体的な成果及び成果見込み】

各事業をつうじ新たな人的ネットワークの構築や研究者・技術者の知見、スキルの向上に繋がっている。

【課題等】

人的ネットワークの構築は着実に進んでいるものの、ネットワーク形成による広域的な課題解決や共同研究など具体的な取り組みに発展していない。

4. 令和5年度活動方針案

【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な能力を高めていく。また、県の枠を越えて形成した人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1)6つの分科会と2つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

＜分科会＞ ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、
③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、
⑥デザイン分科会

＜研究会＞ ①天草陶石の未利用資源に関する活用研究会、②無焼成プロセス研究会、

また、地域産業の振興や課題解決に貢献する新たな分科会、研究会の設置を奨励する。

- (2)九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進するとともに、地域中堅・中小企業の課題解決への支援を各機関が協力して実行する。

【重点活動】

(1)広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、産技連九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバー(九州地方知事会等)をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業の連携を図り、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会との連携の維持・強化を図る。

(2)地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

地域部会総会を開催する。また、各分科会は年1回程度、研究会は年2回程度開催し、地域産業の課題解決に資する関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行うとともに、共通課題を掘り起こし、明確にして、その課題を解決すべく広域連携で取り組む。

(3)九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

地域企業等へ産総研・公設試等の最新情報提供、並びに産学官の情報交換・交流の場を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を継続開催する。同時開催する企業&公設試・産総研合同成果発表会や、講演会、技術シーズ紹介、支援機関等の活動紹介等は、オンライン開催の場合でも双方向性を高めるなど、より効果的に行うことにより、各機関の利活用促進と相互連携を加速し、地域イノベーションの創出に寄与する。

(4)九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会を開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの向上に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。

令4年度の部会・地域産技連内のトピックスを50～80字程度でご記入ください。

※部会・地域産技連の活動をまとめたパワーポイントスライドの作成に利用します。

「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」については、ハイブリッドで開催し、配信終了後、3年ぶりに支援機関等交流会をリアルで実施。